

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成30年度取組結果】

団体名	皿倉登山鉄道株式会社
-----	------------

所管課	産業経済局 観光課
-----	-----------

<p>団体に対するミッション</p> <p>本市の代表的な観光地の一つである皿倉山山頂への唯一の公共交通手段である皿倉山ケーブルカー等を運行することで、産業観光や夜景観光の誘致など皿倉山周辺地区への本市の観光戦略の一翼を担う。</p>

<p>行財政改革大綱における見直し内容</p> <p>今後も、平成22年度に策定した「経営改善計画」に基づき、健全経営の維持に努める。</p>

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	着実な経営改善に取り組む。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H28	H29	H30		R1	R2	R3	R4
	実績	実績	目標	実績	目標	目標	目標	目標
当期純利益	20,146千円	21,537千円	当期純利益の確保	24,719千円	当期純利益の確保	当期純利益の確保	当期純利益の確保	当期純利益の確保
純資産	41,308千円	62,846千円	黒字	87,565千円	—	—	—	—
長期借入金	66,500千円	61,400千円	市借入金の確実な返済	56,300千円	市借入金の確実な返済	市借入金の確実な返済	市借入金の確実な返済	市借入金の確実な返済

ミッションの遂行状況の評価（平成30年度）

<p>団体における評価</p> <p>平成30年度は7月の豪雨や台風の影響にもかかわらず、10月に台湾と北九州空港間での定期便が就航したことや、同月本市が「日本新三大夜景都市」に選定されたこと、並びに韓国からの団体客受け入れが堅調であることなどから、ケーブルカー利用者数は、対前年比108%となり、2年連続して20万人を達成した。また、成果指標についても、黒字経営の確保、市借入金の着実な返済も達成できた。</p>	<p>市の評価</p> <p>昨年度に引き続き、今年度も3つの指標全てを達成できており、当該団体の営業努力は大いに評価できる。ケーブルカー利用者数も目標値の25万人は下回ったものの、前年比約17千人増の約22万8千人を記録しており、海外でのセールス等、外国人観光客誘致の取り組みが実を結んでいると考えられる。</p>
<p>今後の課題及び見直し内容（案）</p> <p>今後も着実な経営改善に取り組むとともに、天候不順日の運行は安全第一とする。また、来年度は、目標25万人を達成するべく、営業及びPRの強化と季節毎のイベントを開催し、更なる集客促進を図っていく。</p>	<p>団体への改善指導内容（案）</p> <p>更なる観光客の取り込みを目指して、引き続き積極的なPR活動を行っていく。また、利用者の安全を第一とし、天候の不順等には十分配慮して運行を行う。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	特に経営状況を注視する団体
<p>新たな団体客誘致等による増収・PR対策に取り組んでおり、特に数年前から外国人観光客の集客アップに向けて営業活動を強化し、特に韓国からの団体客受け入れが堅調であることと、平成30年10月のスターフライヤーによる台湾・北九州空港定期便就航と同月に本市が「日本新三大夜景都市」に認定されたことが、新たな誘客に繋がっている。既存の多言語版パンフレットに加えて、北九州夜景マップを多言語にて作成、配布するなど、お客様への案内及び周知もスムーズにできている。</p>	